

土浦平和の会

ニュースNO・45 平成7年5月2

発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2 6 64 2
TEL 3 1-9122

美しい大地を戦火で汚していいのか

— 第5福竜丸 →横田基地 →北富士・東富士演習場 —

理事 斉藤房雄

(霞ヶ浦町在住)



去る5月1 1・12の両日、上のコースの平和ツアーに参加した。

この旅でわたしが最も強く印象づけられたのは、こんなに広く、美しい大地を砲口で傷つけていいのかという思いである。

基地(演習場)はほんとに広い。この中で最大は東富士演習場(静岡県)、総面積8 8 1 4.2 haで北汽道矢白別に次ぐ広さ、御殿場市の総面積の3分の1を占拠する。

沖縄の砲弾演習場の移転予定地とされているが、現在でも米軍管理で沖縄のキャンプ・コートニーの米心3海兵隊が1部(117ha)を使用している。

わたしたち一行(20名)は、現地平和委員会の神谷元久さんの案内で、演習場周辺の道路だけでなくバ易内にも入り演習の状況を視察した。

道路の両脇に分散して行進する武装した自衛隊員、1発数万円という砲弾を数分匹:高で発射する演習、モゾ)ズシーンと響く音と着弾地にもうもうと上がる黒煙など、戦争さながら、いまは映測でしか見られない光景だ。

西の空を見上げると、中腹に雲をたなびかせた富士山の雄姿。その裾野がこの演習場、いま自衛隊にぶ/されているが、地元住民も決して負けてはいない。長い間の入会権を利用した闘いがいまに生きている。

「生業」のためには演習場内に入れる権利を獲得し、また現に山に入って山菜採りなどを行っているのだ。

(このツアーの女性メンバーたちもその恩恵に浴した。)

ともあれ、自衛隊であろうと米軍だろうと、この美しい大地を「戦火で汚す」ごま許されない。憲法工行50周年にあたり、わたしたちの反安保・平和の闘いはますます重要になっていると凶忍いを深くした。

土浦・牛久それに水戸市の仲間との交流は楽しく、特に女性パワーのエネルギーはすばらしかった。楽しく、意義深い旅であった。

ありあG奥白が終わりました

97年茨城県平和委員会大会は18日(日)石岡青少年センターでおこなわれ、C;法施行50周年の経行事、「日米共同宣言」「ガイドライン」見直しにともなう危険な実態についての学習と行く、自衛隊基地の危鯨、役割を明らかにする運動、国連総会における「核兵器廃絶交渉」を97年中に始めるよう求めた決議採択、アメ9力退役将軍21氏、世界17ヶ国の元軍最高幹部62氏による核廃絶声明、などの新たな変化に対応する運動、000名の仲間づくりなどの方針を採択しました。県内では特に実戦基地としての百里基地、日本最大の兵だ人干地である霞ヶ浦駐屯地の最近の大増強の実態を調査し、県民に報せていく運動の重要性が、り込まれました。

土浦の代議員参加者は井上仁、井上町久保田、中島、山口でした。

役員として、会長、理事長、事務局長は再選留任。なお、副会長に山口、常任理事'井上が再選されました。

行事ごよみ

- 5月21日 憲法記念集会反省会(6団体代表)
- 5月23日 平和の会理事会(1中地区公民館)
- 5月30日 平和行進県南実行委員会(つくば)
- 6月5日 平和行進土浦実行委員会(1中地区公民館)
- 6月29日 県母親大会(東海高校)



囀く

μ・